



INFORMATION

三陸国際芸術祭2025 in 釜石市
三陸地域の郷土芸能を楽しみください！

10月4日の夜は勇壮な虎舞と夜神楽、5日は青森県八戸市から住田町までの三陸地域から集まった多彩な芸能が楽しめます。誰でも参加できる盆踊りフェスや三陸地域のグルメを味わえる出店も！来場をお待ちしています！



- ▶日時…10月4日(土)18時～21時、5日(日)9時～18時
- ▶会場…釜石市民ホールTETTO (釜石市大町1-1-9)
- ▶入場料…無料
- ▶お問い合わせ…www.kamishima-festival.jp

INFORMATION

建築物の防災に関する
相談に答えます

8月30日から9月5日は防災週間です。県では建築物に関する防災知識の普及や防災・維持保全関係法令の周知を図り、建築物の防災対策を推進する取り組みを行っています。

期間中は、県庁と各広域振興局の担当部署に建築物防災相談所を設置。建築に関する地震対策やがけ、ブロック塀の安全確保など、建築物の防災に関する住民の相談に答えます。ぜひ利用ください。

- 建築物防災相談所
- ▶開設期間…9月5日(金)まで
- ▶会場…県建築住宅課、県北広域振興局5階土木部
- ▶相談方法…来場するか電話
- ☎県建築住宅課 019-629-6650
- ☎県北広域振興局土木部 53-4990

NEWS 生き物の生態を楽しく学ぶ

市立図書館開館5周年記念「今泉忠明講演会～もっと教えて残念な生き物～」



動物の生態を開設する今泉さん

7月26日、市立図書館で開館5周年記念「今泉忠明講演会」もつと教えて残念な生き物」が開催されました。「ざんねんないきもの事典」の監修者で動物学者の、今泉忠明さんが講師を担当。動物たちの進化の過程で生まれたちよつと残念な特徴を映像や

事例を交えて紹介し、大人も子どもも楽しめる講演となりました。今泉さんは、ゴリラは筋力や安定性を重視する構造で腕を回しにくいといった特徴を紹介。ざんねんな特徴をその背景にある進化の過程と合わせて、分かりやすく解説しました。自ら撮影した森の映像を通して、公園、川辺など身近な場所でも、観察を続けることで生きものの生態が見えてくることを語りました。参加した佐々木美香さんは「アニメがきっかけで、本や先生を知っていました。雨が降ると体温が低下し、胃が動かなくなると満腹でも餓死してしまうナマケモノの生態が面白かったです」と笑顔を見せました。

NEWS 自然を学ぶ・体験する・親しむ

滝ダム見学会・長内川まつり



イワナ捕まえた！ 模型でダムの仕組みを学ぶ参加者

国土交通省と林野庁が制定する、7月21日から31日の森と湖に親しむ旬間に合わせて、自然に親しむイベントが開催されました。7月29日には、滝ダム管理事務所がダムの見学会を開催。21人が参加し、ダムの仕組みを学びました。職員がダムの役割や全国に3000か所以上あるダムのうち、海が見えるダムは約50か所しかないことを紹介。ダムの内部に入り、流れる水を調節する3つのゲートや発電設備を見学しました。参加した上小路晃さんは「ダムを外からは見ていますが、内部を見学する経験は貴重で、



ヤマメの稚魚放流を行う親子

重でした」と目を細めました。8月3日には、長内川新街橋上流側の広場で長内川まつりが開催されました。長中ソーランと長小さんの披露でイベントがスタート。カヌーカヤック体験、丸太切り体験などが行われ、家族連れや子どもたちでにぎわいました。子どもたちはウォータースライダーや浮き輪レースなど川に入ってイベントを楽しみ、水や木材に触れ、体験しながら自然を満喫しました。イワナのつかみ取りに挑戦した、年長の寺澤佳生さんは「最初は魚が怖かったけど、やってみたら楽しかったです」と笑みを浮かべました。

NEWS 海洋ごみを減らそう

拾い箱設置、スポGOMI in 久慈市



拾い箱の前であいさつする林部長

B&G財団の助成を受け、舟渡海水浴場にごみ集積用のボックス「拾い箱」が設置されました。長内中学校の文化芸能部がデザインを担当。海や空、光が表現され、さまざまな海の生き物が描かれています。8月4日に除幕式が開催され、3年生の林咲来部長は「拾い箱をたくさんの人に活用してもらい、海のごみが少しでも減ることを願っています」とあいさつしました。



海辺でゴミを探す参加者

同日、ごみ拾いにスポーツの要素を加えた競技「スポGOMI」が、当市で初めて開催されました。日本発祥のスポGOMIは、拾ったごみの量や質などをポイント化して競います。小学生から高校生の15チーム、45人が「ごみ拾いはスポーツだ！」の掛け声でスタート。あまちゃんマラソン大会のコースを中心に、1時間ごみを拾いました。

INFO 年金生活者支援給付金

関二戸年金事務所 ☎0195-23-4111 / 関市民課 ☎52-2118

年金生活者支援給付金は、所得額が一定水準以下の年金受給者に、支給される給付金です。給付金を受け取るには請求書の提出が必要です。▼対象：◇老齢基礎年金受給者で、次の要件をすべて満たす人 ①65歳以上 ②世帯員全員の市民税が非課税 ③前年の公的年金の収入額とその他の所得との合計が約90万円以下

- ① 請求手続き：老齢基礎・障害基礎・遺族基礎年金を受給中の人：新たに支給対象となる人には、日本年金機構から年金生活者支援給付金請求案内（はがき型請求書）が郵送されます。記入して提出してください。※対象と思われる人で請求書が届かない人は、問い合わせください。
- ② これから年金を請求する人：年金の請求手続きと併せて、給付金の請求手続きをしてください。

INFO 市の施設の指定管理者を募集

関商工観光課 ☎52-2123

令和8年4月1日から、市に代わって次の施設を管理する団体（指定管理者）を募集します。応募には、現地説明会への参加が必要です。募集要項や必要書類など詳しくは、市HPを確認するか、問い合わせください。▼公募する施設：次の施設を一括して公募します。個別の施設での応募は受け付けません。

- ① 久慈市観光交流センター（やませ土風館「風の館」）
- ② 久慈市駅前観光交流センター（情報交流センター「YOMUNOSU」）
- ▼応募方法：必要書類を担当課に提出
- ▼応募期限：10月15日(水)17時15分
- 現地説明会：参加には、事前の申し込みが必要です。担当課まで電話で申し込みください。
- ▼日程：9月12日(金)14時
- ▼会場：久慈市観光交流センター（やませ土風館「風の館」）2階市民協働ホール